

事業報告書

【第3期】

平成27年度

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

事業報告書 目次

I. 事業の概要.....	2
1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動	2
2. 日本語・漢字に関する調査および研究活動	4
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動.....	6
II. 漢字博物館・図書館（仮称）および本部事務所建設	11
III. 理事会・評議員会に関する事項.....	12
IV. 法人の課題.....	14
V. 後発事象	14

I. 事業の概要

伝統ある日本文化の発展の過程において、日本語・漢字がその根幹にあつて、文化の伝達と進展を支えてきました。本協会は、社会生活に必要な日本語・漢字の能力を高め、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高めるとともに、我が国における生涯学習の振興を通して日本文化の発展に寄与することを目的とします。

この目的を達成するために、本邦および海外において次に掲げる公益事業に取り組み、あらゆる人々の日本語・漢字の“学び”を支える活動を行いました。

● 事業（定款第4条1項）

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動
2. 日本語・漢字に関する調査および研究活動
3. 日本語・漢字に関する能力育成活動
4. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 日本語・漢字に関する普及啓発・支援活動

社会生活に欠かせない日本語・漢字に対する興味関心、尊重の念を抱き、生涯にわたって学習する動機付けや、言語生活が豊かに育まれる環境を整備するため、次に掲げる（1）～（5）の手段により、普及啓発・支援活動を行いました。

（1）機関誌の発行

日本語・漢字学習に資する情報誌として、日本語・漢字に関する様々な記事を掲載した「漢検ジャーナル」を発行し、学習者・保護者・教員をはじめ、一般の方々に無料配布しました。

「漢検ジャーナル V o 1.15」(平成 27 年 6 月 1 日発行) 発行部数 46.1 万部

「漢検ジャーナル V o 1.16」(平成 27 年 10 月 1 日発行) 発行部数 81.1 万部

「漢検ジャーナル V o 1.17」(平成 28 年 2 月 1 日発行) 発行部数 76.0 万部

（2）We b サイトの拡充

①漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア」 <http://www.kanjipedia.jp/>

漢字および日本語の学習を助け、さらなる興味関心を高めるための活動として、平成 27 年 11 月より、漢字・日本語検索サイト「漢字ペディア」を開始しました。『漢検 漢字辞典 第二版』に掲載された漢字および語句のデータをもとに制作したもので、パソコンやスマートフォンなどから調べたい漢字や語句を検索することで、その意味を知ることができます。

②漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ」 <http://www.kanjicafe.jp/>

漢字および日本語への興味を高めるための活動として、平成 28 年 2 月より漢字・日本語キュレーションサイト「漢字カフェ」を開始しました。『漢検ジャーナル』等で当協会が発信したコンテンツはもとより、巷の漢字・日本語に関する情報を集めて発信していく情報サイトです。

（3）漢字文化啓発イベント

①今年の漢字®

『今年の漢字®』は、一年を振り返り世相を表現する漢字一字を考えることで、漢字の持つ奥深い意義を再認識していただく機会として、1995 年から毎年実施している行事です。毎年年末に、全国からその年の世相を表す漢字一字とその理由を公募し、最も応募数の多かった漢字を 12 月 12 日の「漢字の日」に清水寺（京都市）の森清範貫主の揮毫により発表しています。本年

は、日程の都合上 12 月 15 日の発表となりましたが、応募総数 129,647 票のなかから「安」が 5,632 票（4.34%）を集めて 1 位となりました。

②今、あなたに贈りたい漢字コンテスト

“漢字がつなぐ絆”をテーマとして、「想いを込めた漢字を贈る」ことで人との絆を感じるきっかけや大切な人への想いを改めて認識する機会をつくることを目的とし、漢字を贈るメッセージコンテストを実施し、全国から広く作品を募集しました。「家族部門」には 9,824 作品、「夫婦・恋人部門」には 791 作品、「友人・恩人部門」には 5,854 作品、「自分部門」には 2,961 作品、「その他」には 2,211 作品、合計 21,641 作品の応募がありました。3 月 24 日（木）表彰式を行い、受賞者に賞状・副賞を授与しました。

・絆大賞(各部門につき 1 作品)	計 4 作品
・日本漢字能力検定協会賞(各部門につき 1 作品)	計 4 作品
・審査員特別賞(各部門につき 3 作品)	計 12 作品
・ペア応募特別賞	計 5 組 10 作品
・佳作	計 60 作品
	合計 90 作品

応募のあった「贈りたい漢字」は計 1,284 字でした。

4 部門を合計した「贈りたい漢字」は、「感」が最も多く、順に「笑」「謝」「優」「楽」「友」「幸」「愛」「支」「夢」などの漢字が並びました。部門別の応募数の多かった「贈りたい漢字」は下記の通りです。

順位	家族部門	夫婦・恋人部門	友人・恩人部門	自分部門
1 位	感	愛	笑	夢
2 位	謝	謝	友	努
3 位	笑	笑	感	笑
4 位	優	幸	楽	楽
5 位	幸	優	優	挑

なお、昨年第 2 回の受賞作品を冊子化し、全国の小・中・高校と公立図書館に約 45,000 冊を寄贈しました。本年第 3 回の受賞作品も同様に冊子化し、寄贈する予定です。

(4) 全国の漢字同好会への活動助成

日本漢字能力検定の上位級（1 級・準 1 級）の合格者が主なリーダーとなって、日本語・漢字の学習や漢検の対策学習等に励む漢字同好会があります。会報誌の発行や地域に開かれた勉強会の開催、広く一般を対象とした講演会・イベント等の活動、学校や地域公民館などへの学習ボランティア講師の派遣などを奨励し、地域の日本語・漢字学習の普及啓発・支援を担ってもらうために、同好会活動費の助成を行いました。新たな同好会結成にも積極的な支援を行うため、ホームページで公募し、各団体の活動内容を公表しています。

【助成対象同好会】

北海道漢字同好会・福島県漢字同好会・横濱漢字の会・新潟漢字同好会・石川漢字友の会
静岡漢字朋友会

(5) 支援活動

経済的、環境上の理由により検定の受検や漢字学習が困難な児童・生徒に対し、漢字検定の受検機会や学習書籍を無償で提供する学習支援を行いました。漢検の受検を通して日本語に親しむ機会を持つことで、漢字の運用能力や学習意欲の向上に役立っています。

【対象および支援者数】

・要保護児童生徒（義務教育課程在籍者） 延べ 362 団体 1,030 名

・児童自立支援施設	延べ 131 団体	2,209 名
・児童養護/情緒障害児短期治療施設	延べ 217 団体	3,234 名
・東日本大震災の被災地支援 被災児童・生徒の漢字検定無償受検 学習教材の無償提供 義援金・寄付金：200万円	延べ 180 団体	15,744 名 3,836 冊

2. 日本語・漢字に関する調査および研究活動

日本の漢字とは何かを、漢字そのものの字体論や意味論等の側面から研究するのみならず、日本文化の側面から研究する漢字文化研究や日本語・漢字学習の普及啓発・支援活動や日本語能力育成活動の深化と発展に資する研究活動を行いました。

(1) 漢字文化研究

日中韓共通常用漢字選定プロジェクト

日中韓賢人会議（*）で提言された「三カ国が伝統的に使う漢字の共同研究と共通常用漢字の選定プロジェクト」の日本側の研究体制機能を担い、5月20～22日に行われた日中韓三国協力事務局主催の第10回済州フォーラムにおいては、会長より808漢字の三国での活用提案を行いました。

*日中韓の有識者が三カ国や東アジアの協力について議論し提言をまとめるフォーラム。日本経済新聞社、中国の新華社、韓国の中央日報が協力して、平成18年に設立。現在の各国の団長は、福田康夫元首相、曾培炎・前國務院副総理（中国）、李洪九・元國務総理（韓国）。

(2) 日本語・漢字教育研究

検定の質的向上と能力判定の妥当性を高めるため、以下の分析を行いました。

- ・受検結果データの調査分析（読み・書きの正答率調査等）
- ・書き問題における誤答傾向の調査
- ・小学校の各教科書で使われる漢字語彙の頻出調査

(3) 顕彰

漢検漢字文化研究奨励賞

広く漢字文化に関わる学術的研究、調査等のうち、将来一層優れた展開が期待され有望視される学究に対して、漢字文化研究奨励賞を授け、顕彰しました。当年度は13点の論考が寄せられ、以下5名の論文が選ばれました。受賞論文を「漢字文化研究 第6号」として刊行するとともに、協会ホームページにも公開し、更なる研究の深化を奨励しました。

各賞	受賞者（敬称略）	論文タイトル
最優秀賞	該当なし	
優 秀 賞	藤本 灯 国立国語研究所 特任助教	字音から見た三卷本『色葉字類抄』「仏法部」の性質
佳 作	大和田 凌子 茨城大学人文学部人文コミュニケーション学科文芸・思想コース4年	『大漢和辞典』から考察する「譌字」－「譌字」と「誤字」の違いに着目して－
佳 作	ホワニシャン・アストギク 一橋大学大学院言語社会研究科博士後期課程3年	近代日本における眼科学者の国字研究
佳 作	頼 衍宏 銘伝大学応用日本語学科専任 助理教授	1960年代「和習研究」追考：コーパスに基づく再検討
佳 作	李 媛 北海道大学大学院文学研究科 博士後期課程2年	埋字と脱字 －篆隸万象名義の掲出字数をめぐる問題－

(4) 助成

漢字・日本語教育研究助成制度

学校教育法に定められている学校等の教職員が行う漢字・日本語（国語）教育の実践的な研究活動に対して、研究活動費の助成を行いました。当年度は、応募数14団体のうち、以下2団体の教職員の研究活動を選定しました。平成27年度の研究活動報告は、「漢字・日本語教育研究第5号」としてまとめるとともに、ホームページで公開します。

団体名	代表者	研究テーマ
富山大学	宮城 信	作文コーパスを資料に児童・生徒の漢字使用・選択傾向と発達の実態を明らかにする －語彙情報つき作文コーパスの構築と学齢別語彙・漢字使用実態調査－
仲間と創る授業プロジェクト(活水女子大学)	和田 一菜	作文授業を改善する実用的なアイデア教材の開発 －日本語教師・日本語学習者の意識調査をもとに－

3. 日本語・漢字に関する能力育成活動

普及啓発活動によって日本語・漢字に興味関心を持った人々に学習する機会を広く提供するため、講習会、研修会、セミナー、教材の発行等を行い、その学習成果と達成度を測る検定試験を実施し、合格証明書の発行を行いました。

(1) 「日本漢字能力検定」の実施報告

①検定級および検定料

1級：5,000円 準1級：4,500円 2級：3,500円 準2級・3級・4級：2,500円
5級・6級・7級：2,000円 8級・9級・10級：1,500円

②実施日

当年度は以下の13日程で日本漢字能力検定を実施した。

回	公開会場日程	対象級	準会場日程	対象級
第1回	平成27年6月21日(日)	1～10級	平成27年6月13日(土)	2～10級
			平成27年6月19日(金)	2～10級
			平成27年6月21日(日)	2～10級
			平成27年7月10日(金)	2～10級
第2回	平成27年10月25日(日)	1～10級	平成27年8月21日(金)	2～10級
			平成27年10月16日(金)	2～10級
			平成27年10月25日(日)	2～10級
			平成27年10月31日(土)	2～10級
			平成27年11月6日(金)	2～10級
第3回	平成28年2月7日(日)	1～10級	平成28年1月15日(金)	2～10級
			平成28年1月30日(土)	2～10級
			平成28年2月5日(金)	2～10級
			平成28年2月7日(日)	2～10級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
公開会場	157	161	157	475
準会場	13,213	17,121	13,676	44,010
合計	13,370	17,282	13,833	44,485

④漢検 CBT (Computer Based Testing)

通常年3回13日程の検定日に限定せず、より多くの受検機会を設けることを目的として、コンピューターを利用した漢検 CBT を実施しました。

	会場数 (日程数)	志願者数
公開会場	35 (2,611)	20,529
準会場	97 (626)	1,252
合計		21,781

⑤志願者数・受検者数・合格者数

平成 27 年度日本漢字能力検定の志願者数は、2,103,271 人でした。

回・級ごとの内訳は次のとおりです。*漢検 CBT 志願者を含む

平成27年度総計													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	4,559	16,000	194,621	345,855	561,063	293,719	215,377	111,523	103,746	101,214	85,344	70,250	2,103,271
受検者数	3,948	13,775	183,235	332,763	541,591	282,812	207,364	107,424	99,888	96,666	81,720	66,454	2,017,640
合格者数	519	1,687	36,452	113,885	257,140	146,580	150,713	84,576	85,930	81,419	73,861	62,988	1,095,750
合格率(%)	13.1%	12.2%	19.9%	34.2%	47.5%	51.8%	72.7%	78.7%	86.0%	84.2%	90.4%	94.8%	
1級～10級平均合格率												54.3%	
第1回													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,549	5,378	65,835	113,854	169,339	86,216	71,510	28,439	25,399	24,608	19,869	16,576	628,572
受検者数	1,343	4,636	62,197	109,782	163,547	82,898	68,864	27,269	24,299	23,262	18,868	15,474	602,439
合格者数	137	686	11,873	38,566	75,746	41,988	49,976	21,514	20,751	19,552	17,067	14,926	312,782
合格率(%)	10.2%	14.8%	19.1%	35.1%	46.3%	50.7%	72.6%	78.9%	85.4%	84.1%	90.5%	96.5%	
1級～10級平均合格率												51.9%	
第2回													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,511	5,111	60,932	118,218	227,405	113,645	69,336	32,011	28,911	26,767	22,244	17,019	723,110
受検者数	1,320	4,381	57,315	114,275	221,475	110,372	67,151	31,089	28,156	25,944	21,750	16,433	699,661
合格者数	166	394	11,079	37,833	105,182	57,279	47,113	23,316	23,468	20,900	19,188	15,315	361,233
合格率(%)	12.6%	9.0%	19.3%	33.1%	47.5%	51.9%	70.2%	75.0%	83.3%	80.6%	88.2%	93.2%	
1級～10級平均合格率												51.6%	
第3回													
	1級	準1級	2級	準2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	計
志願者数	1,499	5,511	67,854	113,783	164,319	93,858	74,531	51,073	49,436	49,839	43,231	36,655	751,589
受検者数	1,285	4,758	63,723	108,706	156,569	89,542	71,349	49,066	47,433	47,460	41,102	34,547	715,540
合格者数	216	607	13,500	37,486	76,212	47,313	53,624	39,746	41,711	40,967	37,606	32,747	421,735
合格率(%)	16.8%	12.8%	21.2%	34.5%	48.7%	52.8%	75.2%	81.0%	87.9%	86.3%	91.5%	94.8%	
1級～10級平均合格率												58.9%	

※志願者数には、本協会が判断した事由（伝染性病症や天災地変など）により受検を次回実施日に繰り越し、もしくは検定料を返金した志願者を含む。

⑥資格活用状況調査

全国の大学、短期大学、高等学校、専修学校における「日本漢字能力検定」の活用状況を調査しました。入学試験で「漢検」を活用している大学、短期大学、高等学校、専修学校に関する有益な情報を学習者や指導者に提供しました。調査結果はホームページ及び資料にまとめ公表しました。

⑦成績優秀者表彰

「日本漢字能力検定」において、漢字学習に取り組んでいる人の努力を賞し、励みとする目的で、3月30日（水）に成績優秀者表彰式を行いました。受賞者の内訳は次のとおりです。当年度は、個人賞として183名と6組の家族に、団体賞として420団体に各賞を授与しました。

個人賞

◇日本漢字能力検定協会賞	1～10級	合計 37名
◇全国検定振興機構理事長賞	1～10級	合計 35名
◇優秀賞	1～10級	合計 36名
◇奨励賞	1～10級	合計 71名

◇特別賞

〈個人の部〉 級を問わず年間での最高齢合格者	1名
1級・準1級の最年少9歳合格者	3名
〈家族の部〉	6組

団体賞

◇最優秀団体賞	20団体
◇優秀団体賞	120団体
◇奨励賞	180団体
◇特別賞	100団体

⑧各種表彰制度

・「満点賞」

満点合格者の努力を称え、さらなる学習の励みになるよう、各級に満点で合格された方に、合格証書・合格証明書・検定結果通知に加えて「満点賞」の賞状を授与しました。当年度の授与者は延べ30,548名でした。

・「家族受検表彰制度」

生涯学習の奨励と受検者の学習意欲向上を目的として、家族そろって合格した場合に、個別の合格証書に加えて、合格した家族全員の氏名が入った「家族合格表彰状」を申請希望により授与しました。当年度の希望家族数は6,794件でした。

・「団体内表彰制度」

受検者の学習意欲の向上を目的として、各団体が独自の基準で合格者を表彰できるよう、「表彰支援セット（賞状・楯・文具）」を制作し、1日程の志願者数80名以上または年間累計志願者数80名以上の条件を満たした希望団体652団体に755セットを送付しました。

(2)「BJT ビジネス日本語能力テスト」の実施報告

①実施日

第30回〈平成27年度第1回〉平成27年 6月14日（日）

第31回〈平成27年度第2回〉平成27年 11月15日（日）

②実施地

国内：東京、横浜、名古屋、京都、大阪、広島、福岡、大分

海外：北京、上海、広州、大連、青島、天津、瀋陽、南京、成都、重慶、長春、杭州、蘇州、深圳、西安、合肥、香港、台北、台中、高雄、ソウル、釜山、バンコク、ホーチミン、ハノイ、クアラルンプール、ジャカルタ、ヤンゴン

③受験料 7,000円（日本国内）

④申込者数・受験者数

	申込者数	受験者数
国内	2,664名	2,395名
海外	3,572名	3,311名
総計	6,236名	5,706名

⑤I-BJT（団体向けテスト）の実施

企業等の団体において、任意の日時・場所で受験できるI-BJTを21団体に提供し、317名が受験しました。

(3) 「文章読解・作成能力検定」の実施報告

漢字学習の先にある、日本語文章を読み解き、作成する能力を育成するための「文章読解・作成能力検定」を準会場（団体受検）のみで実施しました。

①検定級および検定料

2級：4,000円 準2、3級：3,000円 4級：2,000円

②実施日

回	準会場日程	対象級
第1回	平成27年 6月13日(土)	2級～4級
	平成27年 8月21日(金)	準2級～4級
第2回	平成27年10月23日(金)	2級～4級
	平成27年10月31日(土)	準2級～4級
第3回	平成28年 1月30日(土)	2級～4級
	平成28年 2月13日(土)	準2級～4級

③会場数

	第1回	第2回	第3回	計
準会場	27	74	77	178

④志願者数・受検者数・合格者数

	2級	準2級	3級	4級	計
志願者数	769	1,223	4,922	2,009	8,923
受検者数	749	1,177	4,709	1,861	8,496
合格者数	312	856	3,716	1,522	6,406
合格率(%)	41.7%	72.7%	78.9%	81.8%	
	2級～4級平均合格率				75.4%

(4) 学習支援講座

①漢字日本語講座

日本漢字能力検定の上位級(1級・準1級)の合格者で、一定の専門的知識を有している者(「漢検生涯学習ネットワーク」会員で「漢字教育サポーター育成講座」を修了した者)を漢字教育サポーターとして登録し、そのプロフィールをホームページ等で公開することにより、講座の開講を希望する団体等に紹介する学習支援活動を行いました。

漢字教育サポーター登録者数：431名(1期～4期合計)

②漢検生涯学習ネットワーク研修会

日本漢字能力検定1級・準1級合格者に漢字や日本語についてより深く学ぶ機会を提供するため、漢検生涯学習ネットワークを組織しています。当年度で会員数は7,920名に達しました。会員向けの通信を年4回発行(ホームページでも公開)し、研修会を3回開催しました。

第13回研修会

日時：平成27年6月28日(日) 13:30～16:30

場所：TKP上野ビジネスセンター

講演：『漢字の奥にある「言葉の仕組み」を探る』

森山卓郎氏(早稲田大学文学学術院教授)

研究発表：『漢字でまちづくりにチャレンジ！－福島県喜多方市の取り組みの紹介－』

中村 例氏(漢検生涯学習ネットワーク会員)

参加者：140名

第14回研修会

日 時：平成27年9月13日（日） 13：30～16：00

場 所：仙台市・仙台駅前会議室

講 演：『漢字・漢文に出会った日本語』

大木 一夫 氏（東北大学大学院文学研究科准教授）

参加者：22名

第15回研修会

日 時：平成27年12月20日（日） 13：30～16：30

場 所：神戸市・三宮コンベンションセンター

講 演：『萬葉集の「漢字」』

佐野 宏 氏（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授）

参加者：58名

③漢字教育サポーター育成講座（講師養成）

「漢検生涯学習ネットワーク会員」を対象に自らの漢字の知識を各地域の学習支援に生かせる講師を養成するため、「漢字教育サポーター育成講座」を希望者向けに開講しました。講座は立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所が主催する「漢字教育士」認定講座のカリキュラムに基づいたWebでのビデオオンデマンド講座で、1年間に4科目、全80時間の講義の視聴と確認テストを行い、合格者79名を修了認定しました。

(5) 学習支援セミナー

漢字能力の確実な獲得や伸長とともに、社会人に文章作成能力をいかに高めるかの指導法等を提案する学習支援セミナーを企業人事・研修担当者を対象に東京・名古屋・大阪・福岡の4会場で開催しました。

内 容（各会場同じ）：

文章能力アップで業務効率アップ！～より効率的かつ効果的な文章指導とは～

佐竹秀雄（当協会現代語研究室 室長、元武庫川女子大学 言語文化研究所長）

大阪会場

日 時：平成28年1月14日（木）19：00～21：00

場 所：コンベンションルームAP（大阪駅前）

参加者：40名

名古屋会場

日 時：平成28年1月21日（木）19：00～21：00

場 所：コンベンションルームAP（名古屋・名駅）

参加者：43名

東京会場

日 時：平成28年1月28日（木）19：00～21：00

場 所：フクラシア東京ステーション

参加者：29名

福岡会場

日 時：平成28年2月4日（木）19：00～21：00

場 所：TKP博多駅前シティセンター

参加者：24名

(6) 教材の発行

広く一般の人々に対し学習の機会を提供する手段として、教材や参考書を発行し、書店や教育現場を通じて流通させました。あらゆる分野のあらゆる年齢層の人々に対し、その多様な学習ニーズに応える教材として、次の学習教材を提供しました。

・辞書（漢検四字熟語辞典、漢検漢字辞典）	6,420 冊
・参考書（漢検要覧）	319 冊
・問題集（漢検 漢字学習ステップ 2～10 級）	434,763 冊
・問題集（漢検 過去問題集 1～10 級）	247,528 冊
・問題集（漢検 分野別問題集 1～6 級）	75,895 冊
・問題集（漢検 10 日間でできる練習問題 2～6 級）	27,676 冊
・問題集（ハンディ漢字学習 2～6 級）	32,049 冊
・問題集（実力完成ドリル ステージ 2～6 級）	21,073 冊
・問題集（漢検 漢字学習トレーニング 3/準 2/2 級・5/4/3 級）	22,424 冊
・問題集（漢検ダイレクト 2 級～6 級、ほか指導ポイントつき）	16,084 冊
・問題集（いちまるとはじめよう！わくわく漢検 5～10 級）	60,218 冊
・問題集（実物大過去問！ 本番チャレンジ！）	89,342 冊
・問題集（基礎から学べる！ 文章力ステップ 3 級、4 級）	5,256 冊
・問題集（BJT）	1,721 冊
・その他	18 冊
合 計	1,040,786 冊

Ⅱ. 漢字博物館・図書館および本部事務所建設

京都市立中学校跡地を活用し、漢字・日本語の“面白さ”“楽しさ”“奥深さ”を体感しながら学べる「漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）」及び本部事務所の建設工事を開始しました。また展示整備も開始しました。

建物は平成 28 年 4 月に完成し、本部事務所を平成 28 年 5 月 6 日に移転しました。また、「漢検 漢字博物館・図書館（漢字ミュージアム）」の開館は平成 28 年 6 月 29 日を予定しています。

Ⅲ. 理事会・評議員会に関する事項

開催日	場所	出欠状況	議題／報告事項
定例理事会 平成27年6月5日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 10名 欠席理事 1名 出席監事 2名 欠席監事 0名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「平成26年度事業報告書(案)」承認の件 2. 「平成26年度決算報告書(案)」承認の件 3. 「出版倉庫料処理」承認の件 4. 「内閣府提出の平成26年度事業報告等に係る概要」承認の件 5. 「漢字博物館・図書館組織(案)」承認の件 6. 「定時評議員会の招集」決議の件 7. 「『漢検 実物大過去問 本番チャレンジ!(仮)』の価格」承認の件 8. 「『新刊・文章力向上問題集(仮題)』の価格」承認の件 9. 「組織変更(平成27年4月1日付追認)」承認の件
定時評議員会 平成27年6月22日	当協会 京都本部 会議室	出席評議員 10名 欠席評議員 1名 出席理事 3名 出席監事 2名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「評議員会議長の選任」の件 2. 「平成26年度決算報告書(案)」承認の件 3. 「任期満了に伴う理事の選任」の件 <p>報告 1. 「平成26年度事業報告書」について</p> <p>報告 2. 「内閣府提出の平成26年度事業報告等に係る概要」について</p> <p>報告 3. 「漢字博物館・図書館組織(案)、愛称(案)」について</p>
臨時理事会 平成27年6月22日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 9名 欠席理事 2名 出席監事 2名 欠席監事 0名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「代表理事(役付含む)選定」の件 2. 「常任理事(役付含む)選定」の件 3. 「常勤理事の担当業務」決議の件 4. 「理事会議長の代行順位」決議の件 5. 「常勤理事の報酬額の決定」承認の件 6. 「執行役員の選任と事務局長の任命、並びに担当部門」決議の件 7. 「漢字博物館・図書館組織(案)、愛称(案)」承認の件 8. 「平成27年6月23日付・7月1日付 組織図」承認の件
定例理事会 平成27年9月4日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 10名 欠席理事 1名 出席監事 2名 欠席監事 0名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「2016～2018年度 中期事業計画」承認の件 2. 「漢字博物館・図書館 名称」承認の件 3. 「漢字博物館・図書館施設のうち賑わい施設(ギャラリー・ミュージアム ショップ・休憩室)に関する計画・費用」承認の件 4. 「受検機会提供制度(児童養護施設・情緒障害児短期治療施設 対象)内容変更」承認の件 5. 「平成27年度 書籍廃棄」承認の件 <p>報告 1. 「決算の概要報告」について</p> <p>報告 2. 「常勤理事の職務執行の状況報告」について</p> <p>報告 3. 「訴訟関連の進捗」について</p>

開催日	場所	出欠状況	議題／報告事項
定例理事会 平成27年12月4日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 8名 欠席理事 3名 出席監事 2名 欠席監事 0名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「主たる事務所の所在場所変更」承認の件 2. 「『漢検 漢字博物館・図書館』(漢字ミュージアム)事業計画(案)」承認の件 3. 「『漢検 漢字博物館・図書館』(漢字ミュージアム)ロゴマーク」承認の件 4. 「文書管理規程の改定」承認の件 <p>報告 1. 「平成27年7月末決算および期末予想」について</p> <p>報告 2. 「平成27年度冬季賞与支給」について</p> <p>報告 3. 「平成28年度理事会・評議員会開催日」について</p> <p>報告 4. 「日中韓共通漢字808字」について</p>
定例理事会 平成28年3月4日	当協会 京都本部 会議室	出席理事 9名 欠席理事 2名 出席監事 2名 欠席監事 0名	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「平成28年度事業計画書(案)」承認の件 2. 「特定資産の積立及び取崩計画(案)」承認の件 3. 「『平成28年度収支予算書』及び『資金調達及び設備投資の見込み』(案)」承認の件 (報告)「平成27年11月末決算および期末予想」について 4. 「3月度臨時評議員会の招集」決議の件 5. 「平成28年4月1日付 部長人事」承認の件 6. 「評議員への個別業務委嘱」承認の件 <p>報告 1. 「常勤理事の職務執行の状況報告」について</p> <p>報告 2. 「訴訟」について</p>
臨時評議員会 平成28年3月16日	当協会 京都本部 会議室	出席評議員 9名 欠席評議員 2名 出席理事 3名 出席監事 1名	<p>報告 1. 「平成28(2016)～30(2018)年度 中期事業計画」について</p> <p>報告 2. 「平成28年度事業計画書」について</p> <p>報告 3. 「『平成28年度収支予算書』及び『資金調達及び設備投資の見込み』」について (補足説明)「平成27年11月末決算および期末予想」について</p> <p>報告 4. 「『漢検 漢字博物館・図書館』(漢字ミュージアム)事業計画」について</p> <p>報告 5. 「訴訟」について</p> <p>報告 6. 「平成28年度評議員会開催日」について</p>

IV. 法人の課題

民事訴訟

元正副理事長 2 名及び関連 4 社の計 6 者に対する不当利得の返還及び損害賠償を求める訴訟に関して、京都地方裁判所で係属中です。引き続き司法の場での解決を図ります。

V. 後発事象

特記事項はありません。

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

平成 28 年 6 月

公益財団法人 日本漢字能力検定協会